



よ坊さんだより

▼41▲

定期健診は、口の中の状態や年齢によって1〜6カ月ごとに受診するのが望ましいとされています。一度歯周病にかかって治療が終わり、健康な口になったとしても、時間がたつといつのか歯周病を再発していたということはよくあることです。しかし、定期的な健診を受けること

に抜歯せざるをえない状態になってしまうことも少なくありません。このためにも1〜6カ月ごとの定期健診で口の状態を見てもらい、その状態に応じた歯磨きの方法やフロス、歯間ブラシといった補助清掃器具の使用法を覚えてもらう必要

といった自分では除去できない汚れを定期健診の際、歯科医師や歯科衛生士が取り除いてくれます。定期的な口を診てもらうことによって、常に健康な歯や歯茎を維持することが出来ます。

定期健診で再発防止

歯周治療が終わったからといって、歯磨きを怠ったり、歯の管理がきつちりできていないと歯周病はすぐ

要があります。口の中の汚れを常に落とすことで歯周病は予防することが出来ます。しかし、歯

磨きだけではどうしても取り除けない部分にたまっていく汚れもあります。こうした汚れもありません。こう

歯科医師は歯を治療する技術だけではなく、予防の知識も持っているのです。大切な歯を歯周病から守るためにも、定期健診を受診されることをお勧めします。

(京都府歯科医師会 広報室次長 山岡雄司)

歯せずに治療することができたのに、再発したため

*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。

歯周病 ⑭